

18番 宮成昭義 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 豊後大野市の目指す都市像、まちづくり理念について	豊後大野市が目指す都市像「豊かな自然と文化を未来につなぐやすらぎ交流都市」、まちづくりの基本理念「やさしく、たくましく、ともに築く豊後大野市」とされているが、市内の地域状況、住民の生活実態等を顧み思うとき、目指す都市像やまちづくりの理念の言葉からして、市民感覚としては、その実感は薄いのではないかと考えるが、10年を迎えた豊後大野市の今をどのように捉えているのか伺う。	市長	
2 障がい福祉における事業推進について	障害者基本法の基本的理念により、「障がい福祉サービス」「相談支援」「地域生活支援」の各種サービスを計画的に提供、各年度において障がい福祉サービス等に関する数値目標を定め体制の確保、事業推進を図るとのことで、平成18年度から3年を1期とし障がい福祉計画が作成され、取り組んできたとのありますが、数値目標等、達成に向けた事業推進がなされたのか伺う。	市長	
3 歯科予防対策について	歯は「かむ」「話す」「健康を保つ」といった多くの役割があり、「かんで食べる」という行為は、体に必要な栄養をとることのみならず、視覚、聴覚、臭覚、触覚、味覚などの五感を刺激し味わいや満足感を得るなど、歯は重要な役割や機能を持ち、心身の健康な体をつくり出す源とも言われています。 本市における歯科予防保健対策にどのように取り組み推進されているのか伺う。	市長	

7番 神志那文寛 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
<p>1 「地方創生」ではなく、地域の再生を。</p>	<p>昨年 11 月 21 日、地方創生関連 2 法案が可決・成立し、12 月 27 日には、人口の将来展望を示す「長期ビジョン」と、これを実現するための「総合戦略」が閣議決定されました。</p> <p>「総合戦略」では、人口減少など地方の衰退は、行政の縦割り構造、バラマキ施策が原因などと総括していますが、地方の衰退はこれまでの政治が招いたものであり、その反省もなく「地方創生」といっても通用しません。</p> <p>「総合戦略」などでは「地方にしごとをつくり」などと掲げる一方で、TPP の推進、労働者派遣法の改悪など低賃金の不安定雇用の拡大を進めています。</p> <p>また、「連携中枢都市圏」構想の名で都市部に公共施設と住民サービスを集約することは、周辺地域の疲弊をさらに進めます。こうした地方切り捨ての先には、さらなる市町村の再編と「道州制」が狙われています。</p> <p>政府は上から目線で「地方」をみて、政府が意図する自治体の形へ作り直す、つまり「創生」しようとしています。本市においては、どのような「総合戦略」を策定していくのでしょうか。</p> <p>私は、豊後大野の地域にふさわしい産業をしっかりと支え、さらに新たな富も生み出し、それを地域内で循環させること、さらにその循環の輪を太くしていくことを土台に、住民の立場に立った「地域の再生」を求めるものです。</p> <p>① 豊後大野市の現状、抱える問題点をどのように捉えているのでしょうか。</p> <p>それらを踏まえて、政府が言う「地方創生」のどのような点に期待をしますか。</p> <p>② 本市は農林業を中心とした町であるので、全ての農林業者の所得向上につながる施策を、根本に据えるべきだと思います。</p> <p>市が策定する「総合戦略」では、具体的にはどのような施策を検討していくのでしょうか。</p> <p>③ 「総合戦略」の策定に当たっては、「住民、NPO、関係団体や民間事業者等の参加・協力が重要」であり「広く関係者の意見が反映されるようにすることが重要」とのことであり、市も審議会の設置を予定しています。その委員については、従来どおりではない新たな視点・発想での選出を行うべきと思いますが、どのように選任する予定なのでしょうか。またその時期は。</p>	<p>市長</p>	

### 5番 内田俊和 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 豊後大野市の観光振興について	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 豊後大野市の観光振興の定義を伺う。</li> <li>② 観光協会の発展的解散（解消）は、どのようになりましたか。</li> <li>③ 豊後大野市の観光予算は平成 24 年度からどのように推移しているか。また、費用対効果を伺います。</li> <li>④ 行政改革は観光予算面では、どのように改革をしたか伺います。</li> <li>⑤ 一般社団法人ぶんご大野里の旅公社の立ち位置はどのようになっていますか。</li> </ul>	市長	

### 3番 赤峰映洋 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 ジオパークの経済効果は	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ジオパーク認定後の本市における消費動向は。</li> <li>② ジオパークの認知度の対策は。</li> </ul>	市長	
2 学校給食は安全・安心か	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 過去において安全性が損なわれた事例は。</li> <li>② 給食費の滞納の対策は。</li> </ul>	教育委員長	

3月10日（火）

6番 朝倉秀康 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 どうなった道の駅あさじの改善策は	<p>中九州横断道路は、朝地ICまで開通し、2月15日、華々しく開通式が行われた。ところが、道の駅あさじにとっては懸案だった駐車場の拡張、15年前に作られて悪臭が、と指摘されているトイレなどの改善策が行われないうまま開通し、多くのお客様から苦情を寄せられ、大変迷惑をかけているのが現状である。</p> <p>この問題は、昨年3月議会から指摘し、6月議会では、7月に国土交通省関係レベルの話し合いを行うとの答弁だったが、その後の進捗状況について伺います。</p> <p>① 駐車場の拡張について                  ② 15年経過し古くて悪評の上がっているトイレの改修について                  ③ 大災害時の避難場所として、また自衛隊の活動拠点とする等について                  ④ 道の駅あさじは、全体的に面積が狭い、この機会に隣接地を購入し、地域活性化活動等に使用したいが、検討の考えは。</p>	市長	

2番 川野優治 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 三重原（周辺）の悪臭問題について	<p>橋本市政になって6年たつが、この6年間、悪臭問題にどのように取り組み、どの程度の成果を上げたのか。また、今後の展望についても伺う。</p>	市長	
2 地方創生について	<p>まち・ひと・しごと創生法は、政府の策定する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案して、各市町村で地方版総合戦略を策定するよう努めなければならないとしています。豊後大野市版総合戦略を策定する際の基本方針について、現段階でどのような考えをもっているのか。特に、国の総合戦略が定める4つの政策分野、安定した雇用の創出、地方への移住、若い世代の希望実現、安心なくらしを守る地域形成への対応の仕方はどうするのか。どの分野に力を入れるのか。</p>	市長	

11番 恵藤千代子 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 安心安全な学校給食の提供について	<p>① 昨年6月、7月に給食への異物混入事案が発生した。その後の再発防止策を伺う。</p> <p>② 行政改革第2期集中改革プランでは、事務事業の見直しの中に、学校給食における調理業務の外部委託を掲げている。異物混入事故などで給食の安全性が問われている中で、安心安全な給食の提供が確保できるか。市の考えを伺う。</p> <p>③ 学校給食を中心とした食育の推進状況を伺う。更に取り組を強化するために、食育の専門職である栄養教諭の配置を県へ要望してはどうかと考える。市の考えを伺う。</p>	教育委員長	
2 ひきこもり対策について	<p>① 昨年6月、大分県は県内の人口15～39歳のうち、自分の趣味以外に外出しない「ひきこもり」は5,400人、15～34歳のうち働かず家事も通学もしない「ニート」は4,900人いるとの推計を公表した。豊後大野市内にはどれくらいのひきこもり、ニートがいると推計されているのでしょうか。また、支援の状況について伺う。</p> <p>② ひきこもりには不登校もきっかけの一つになることもあると言われている。本市の不登校の状況と取組について伺う。</p> <p>③ 本年4月から生活困窮者自立支援法が施行される。その中で、必須事業として、自立相談支援事業が実施される。施政方針には、この事業を社会福祉協議会へ委託し、市役所窓口で1名常駐体制で行うとあるが、ひきこもりの方々に対する支援も、この制度で行うのか、伺う。</p> <p>④ 一人でも多くのひきこもりの方への自立支援をしていくためには、まず相談窓口の啓発を行い、相談によっては、いろいろな関係部署との連携により、きめ細かな対応、息の長い取組が重要であると考える。市は今後どのような対策を講じていくのか伺う。</p>	市長	

17番 生野照雄 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
<p>1 この3月31日で合併10周年を迎える本市の、これまでの施策の取組と今後の方向性について</p>	<p>① 平成16年10月に発行され平成17年3月に変更した大野郡5町2村合併後の新市まちづくり計画が計画どおりに達成されたのか。現状と課題を伺う。</p> <p>② 節目を迎えた本市は、さらに20年目に向けて一体感の醸成づくりと産業経済の振興、教育文化の向上、医療福祉の充実、観光、防災、道路網の整備についての長期ビジョンを伺う。</p>	<p>市長</p>	
<p>2 地域振興協議会の現状と課題について</p>	<p>① 地域づくり計画協定書の調印が行われた3つの協議会、長谷川、土師、松尾鷲谷振興協議会の協働による地域づくり活動について伺う。</p> <p>② 若者が少なく高齢化率の高いこの地域の今後の課題について伺う。</p> <p>③ この3つの協議会をモデルにして協働による取組を市内全域に広げる施策について伺う。</p>	<p>市長</p>	
<p>3 豊後大野市が誘致した木質バイオマス発電について</p>	<p>① 県内及び九州各地で未利用材を使う可能性のある木質バイオマス発電事業計画について伺う。</p> <p>② 森林資源が豊富な本市ですが、固定価格買取制度の下で、木質バイオマス発電の立地による経済効果と森林経営計画対象林の認知作業について伺う。</p> <p>③ 高温高圧で発電タービンを回した廃熱利用と発電所周辺環境整備について伺う。</p>	<p>市長</p>	